

六甲山系で過去に発生した 土砂災害の被害状況

ちさん 治山ダムの はたらき

昭和 13 年 (1938) 阪神大水害



舗装道路上の架橋を渡る、三宮そごう前（神戸市中央区）



省線（現 JR）三宮駅前の濁流（神戸市中央区）



都賀川の氾濫で土砂が流出、埋没した国道電車（神戸市灘区）

昭和 42 年 (1967) 豪雨災害



車も流され立ち往生、宇治川商店街（神戸市中央区）



被災直後の救助活動（神戸市中央区）

被害状況の比較

災害名	被害状況	降雨量	備考
昭和 13 年災害 (阪神大水害)	死者 671 名 行方不明 24 名 住宅全壊 2,658 戸	総雨量 462 mm 日雨量 270 mm 時間雨量 61 mm	豪雨前の 12 日間に 100mm 以上の降雨があり、土壌中の水分が多い状態で大雨が降った。
昭和 42 年災害 (豪雨災害)	死者 90 名 行方不明 8 名 住宅全壊 367 戸	総雨量 371 mm 日雨量 319 mm 時間雨量 76 mm	降雨の継続時間は短かったが、短時間に大量の表面水が斜面上を流れ、浸透流量も大きかった。
平成 26 年災害 (台風第 11 号)	死者 なし 行方不明 なし 住宅全壊 なし	総雨量 526 mm 日雨量 296 mm 時間雨量 88 mm	台風上陸前 (8 月 9 日) と上陸後 (8 月 10 日) の 2 つのピークがあった。(北区、有馬川)

※ 平成 26 年災害(台風第 11 号)では、過去に発生した災害を上回る雨が降りましたが、約 2,300 基の治山ダム等が人や住宅への被害を未然に防ぎました。

治山ダムは、土砂をためることで土砂災害を防ぐなど役立っています

山から流れ出る土砂を止めます！



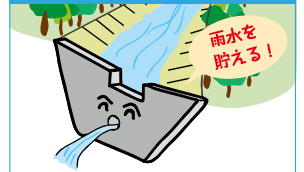
上流から流れてくる土砂が下流にいきなり流れないように受け止めて、少しずつ安全に流します。

雨水が川岸を削ることを防ぎます！



雨水が川岸を削ることを防いで、山の斜面が崩れないようにします。

雨水をためてゆっくりと下流に流します！



治山ダムの上流側にたまった土砂の隙間に水を貯えて、人や植物などが生きていくための水をゆっくり流します。

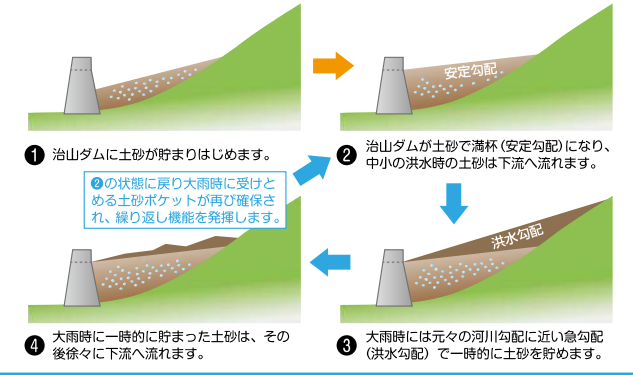
治山ダムは、満杯になった後も繰り返し機能を発揮します



治山ダム（完成時）上流側



- 土砂が満杯になった後も大雨時には一時的に土砂を貯めることができます。②→③
- その後、自然に土砂が流下することで繰り返し機能を発揮します。①→②



兵庫県 CG ハザードマップで危険な箇所を知っておこう！！



兵庫県 ハザードマップ

土砂災害(土砂災害警戒区域)などの
自然災害による危険箇所を公開中

<http://www.hazardmap.pref.hyogo.jp>

スマートフォン・モバイルサイト ▶▶▶
はこちらから

スマートフォン・携帯電話から
CGハザードマップの情報を閲覧できます。

